

世界が進むチカラになる。



グラフで見る東海経済 (2024年10月)

2024年10月8日

調査部 主任研究員 塚田 裕昭

今月の景気判断 ～足踏み状態となっている

【今月のポイント】

- 東海経済は、足踏み状態となっている
- 7月の生産(東海3県)は前月比+3.4%と2ヵ月ぶりに増加したが、均してみると足踏み状態
- 7月の名目賃金は、前年比+3.6%と高めの伸びとなり、実質でも2ヵ月連続でプラスとなった
- 8月の小売販売額は、名目、実質とも前年比でプラスとなっている

項目	現状
景気全般	足踏み状態となっている
生産	足踏み状態となっている
輸出	足踏み状態となっている
設備投資	増加している
雇用	持ち直しの動きがみられる
賃金	持ち直している(↑)
個人消費	持ち直している(↑)
住宅投資	横ばい圏で推移している
公共投資	高めの水準となっている

注: ()内は前月からの変化の方向

賃金、個人消費は「持ち直しの動きがみられる」から上方修正(↑)

生産

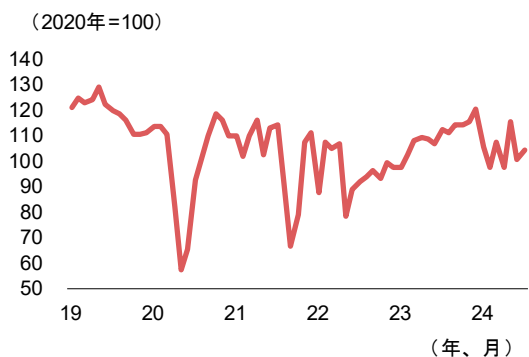
7月の鉱工業生産(東海3県)は前月比+3.4%と2カ月ぶりに増加したが、均してみると足踏み状態となっている。電子部品デバイスが水準を上げている一方で、輸送用機械は生産停止の影響で足踏みが続いている。先行きについては、輸送機械の生産正常化が進むにつれ、持ち直してくると見込まれる。

鉱工業生産指数

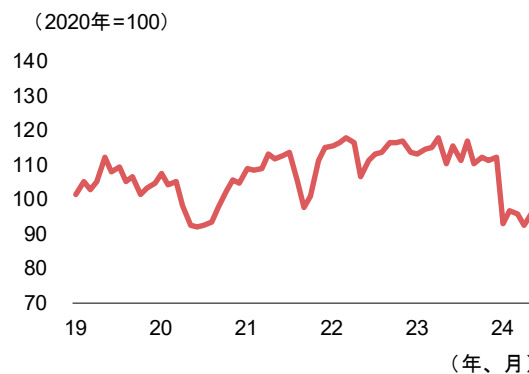


(出所) 経済産業省「鉱工業生産動向」

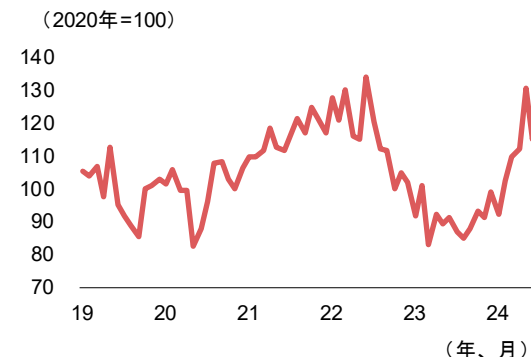
輸送機械



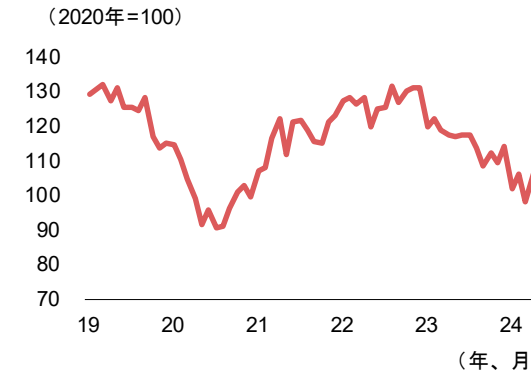
電気機械



電子部品デバイス



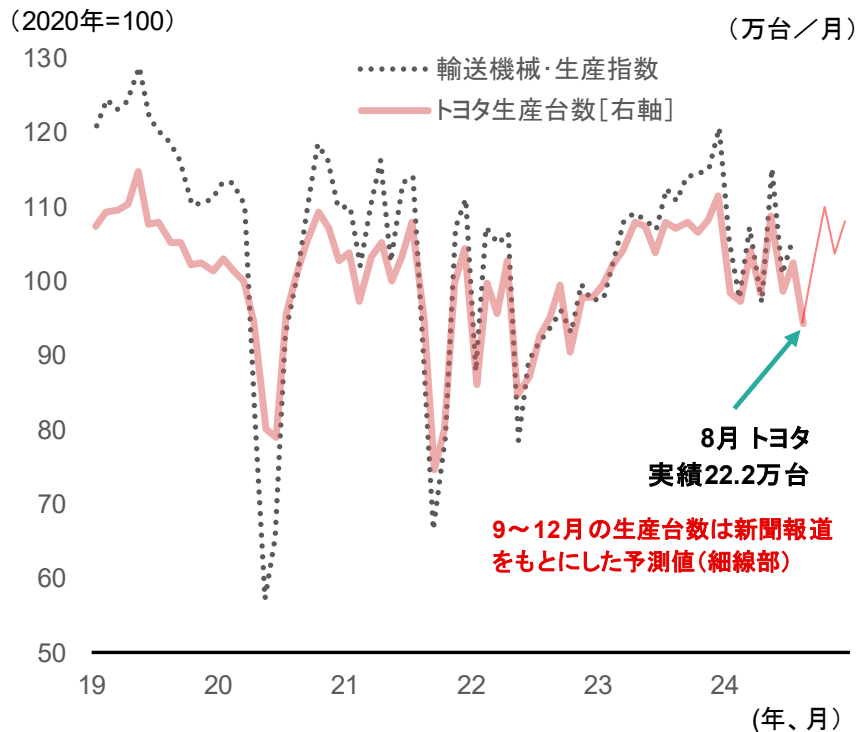
汎用・生産用・業務用機械



生産（トヨタ国内生産）

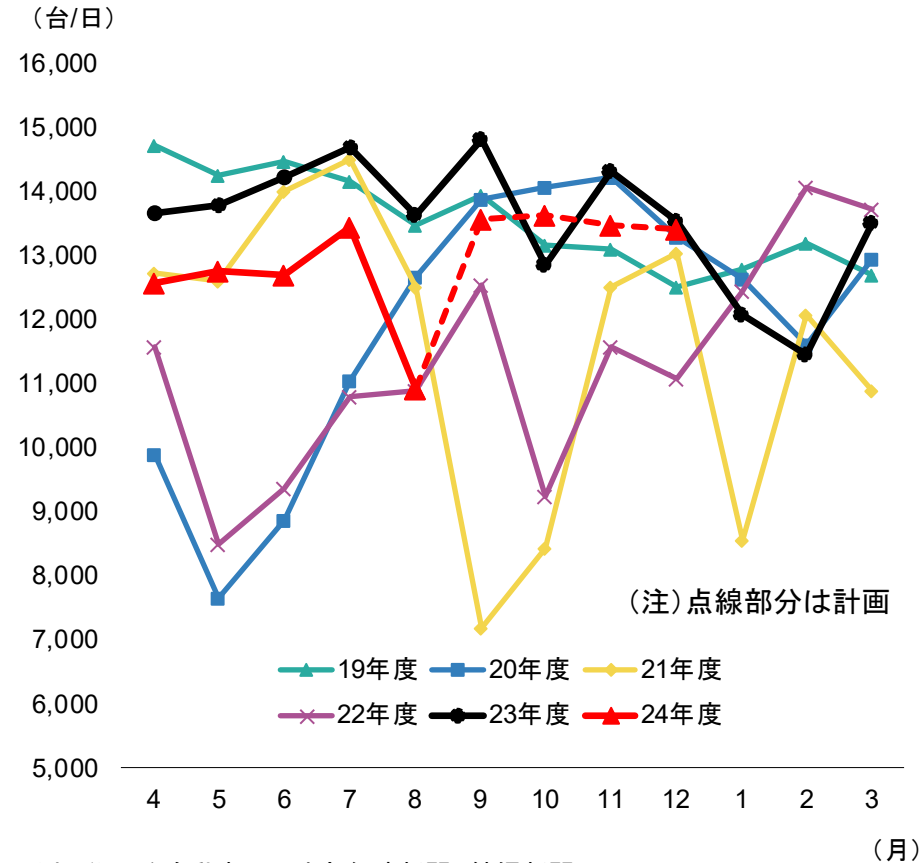
8月のトヨタ生産台数(弊社季節調整値)は22.2万台と2ヵ月ぶりに減少。認証不正による一部車種の生産停止や台風接近による生産停止などが影響した。9月以降は生産停止の解消により水準を上げた後、横ばい圏での推移が見込まれる。

トヨタ月次生産台数(季節調整値)



(注)トヨタ生産台数の季節調整はMURC試算、輸送機械・生産指数は東海3県のもの
 (出所) 中部経済新聞、鉄鋼新聞、中部経済産業局「鋳工業生産指数」

トヨタ日当たり生産台数(原数値)



(出所)トヨタ自動車HP、中部経済新聞、鉄鋼新聞

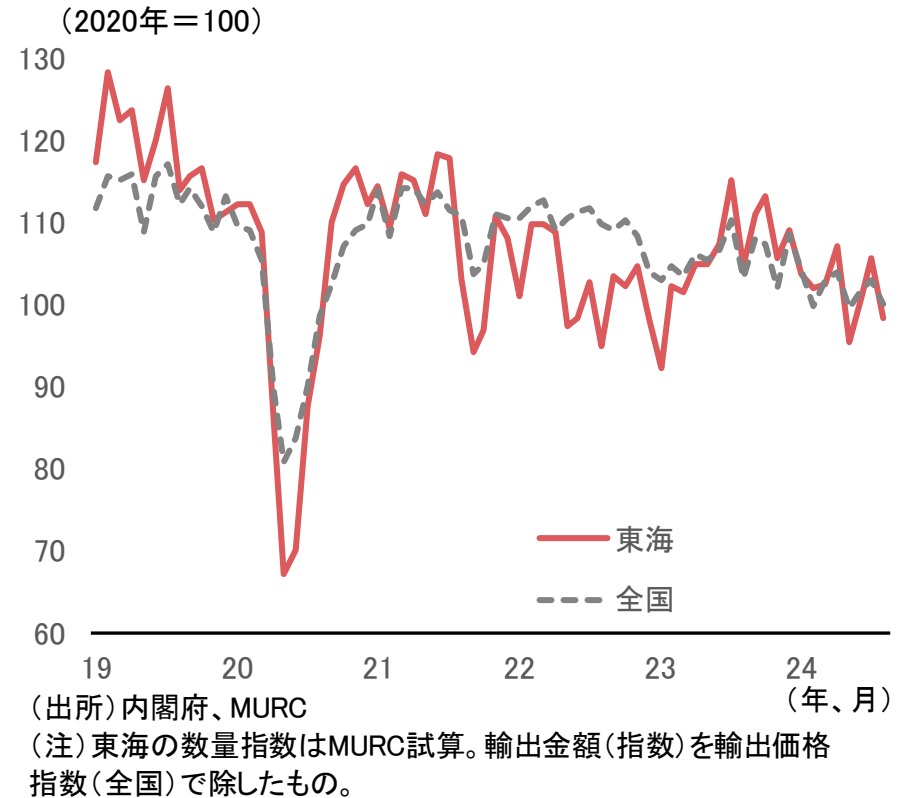
輸出

8月の実質輸出指数(季節調整値)は、前月比+1.6%と3ヵ月連続で上昇したが、均してみると足踏み状態となっている。当社試算による8月の輸出数量指数(季節調整値)は、前月比で3ヵ月ぶりに低下した。

実質輸出指数(季節調整値)



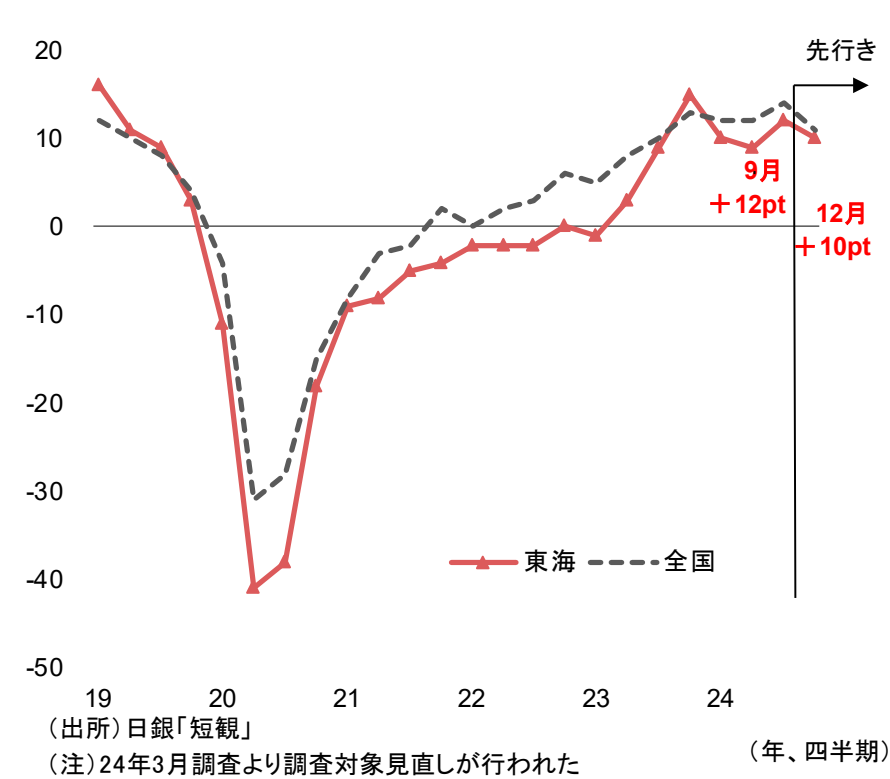
輸出数量指数(季節調整値)



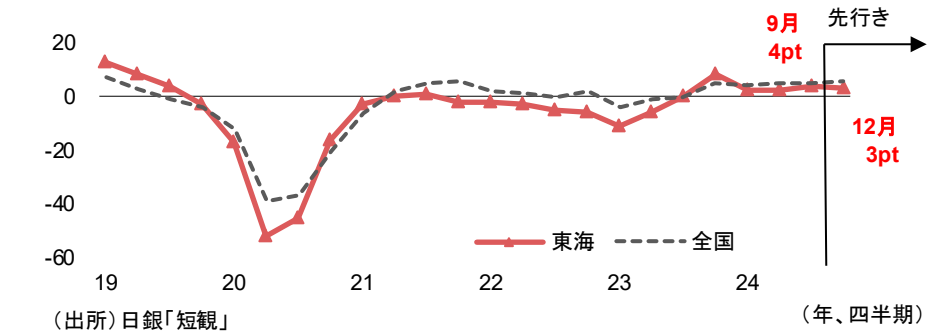
企業景況感(日銀短観)

日銀短観9月調査の業況判断DIは、全産業で+12ptと6月調査(+9pt)から改善した。製造業では食料品、非鉄金属が改善する一方、はん用機械、自動車が悪化した。非製造業では建設、卸売、小売が改善した。先行き(12月)については、製造業、非製造業とも低下が見込まれている。

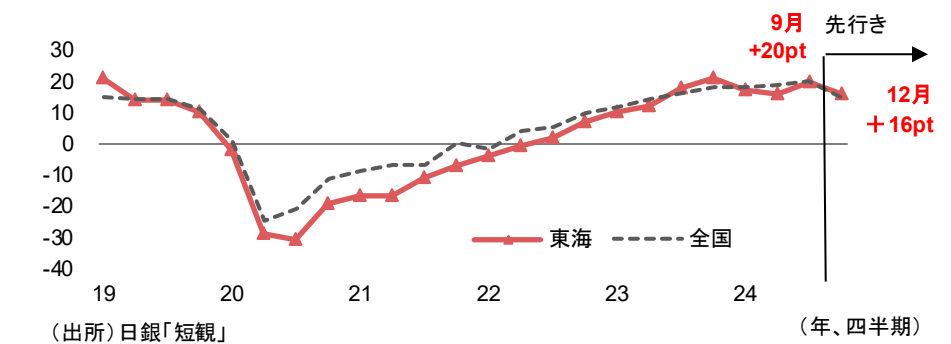
短観 業況判断DI「全産業」



同 製造業



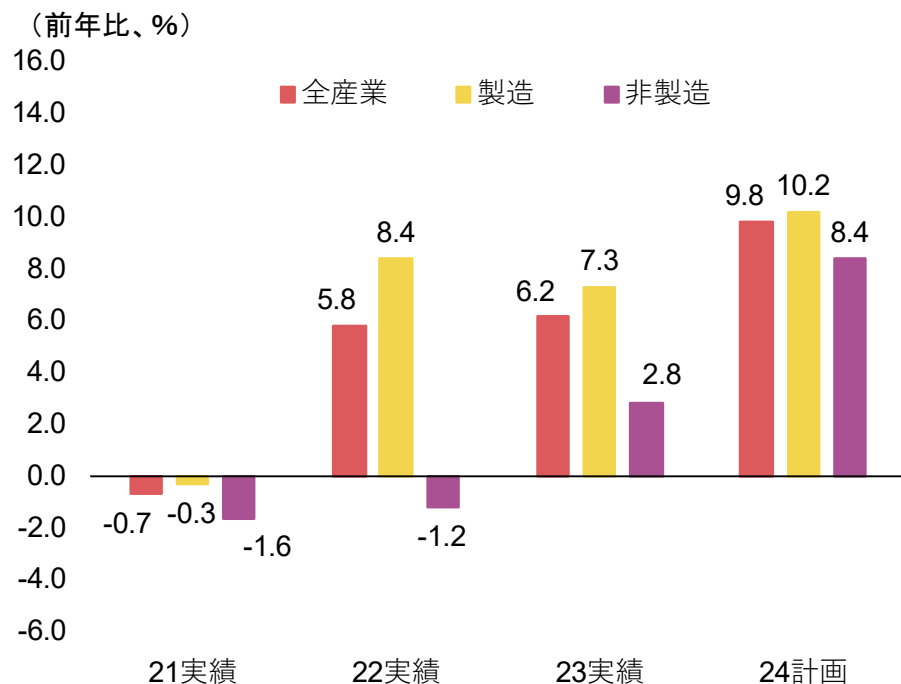
同 非製造業



設備投資(日銀短観)

日銀短観9月調査によると、24年度の設備投資は全産業で+9.8%と前回調査から下方修正となったものの、高い伸びが見込まれている。業種別では、はん用機械、その他輸送用機械、建設、卸売、情報通信などで高い伸びが見込まれている。

設備投資 実績・計画



(出所)日銀名古屋支店「短観」

(注)含むソフトウェア・研究開発、除く土地投資

(年度)

設備投資額(前年比%)

	23年度実績	24年度計画		
		今回調査	前回調査との差異	前回調査
全産業	6.2	9.8	(-0.9)	10.7
製造業	7.3	10.2	(0.7)	9.5
非製造業	2.8	8.4	(-6.4)	14.8

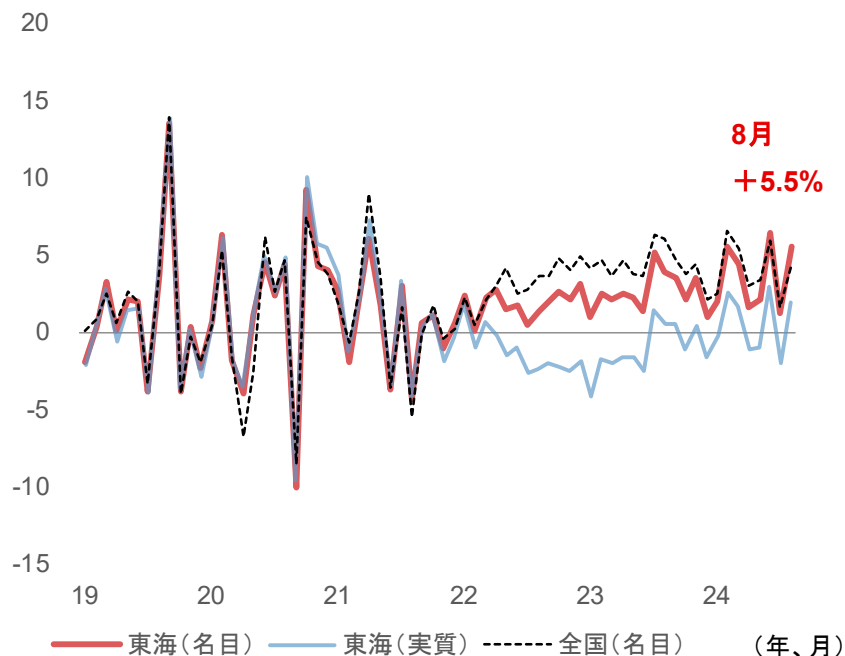
個人消費(小売売上、自動車販売)

8月の小売販売額(名目)は前年比+5.5%と33ヵ月連続でプラスとなった。実質値を試算すると、8月は前年比+1.9%と2ヵ月ぶりにプラスとなった。

8月の新車販売は、前年比-8.3%と2ヵ月ぶりにマイナスとなった。普通車、小型車、軽自動車いずれも減少した。

小売販売額(6業態計)

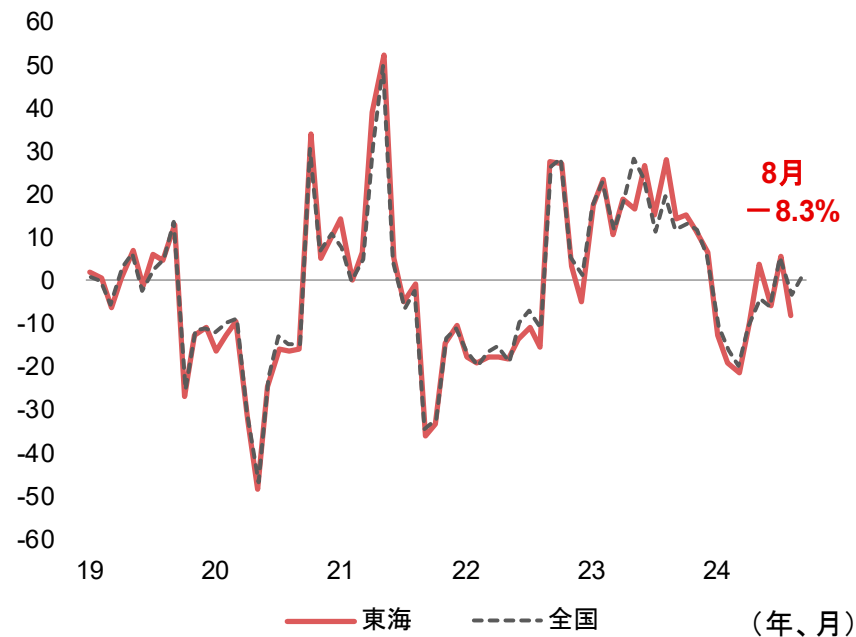
(前年比、%)



(出所)経済産業省「商業動態統計」からMURC試算
(注)百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電量販店、ホームセンターの合計
「持家の帰属家賃を除く総合(東海)」で実質化

新車販売台数(含む軽)

(前年比%)

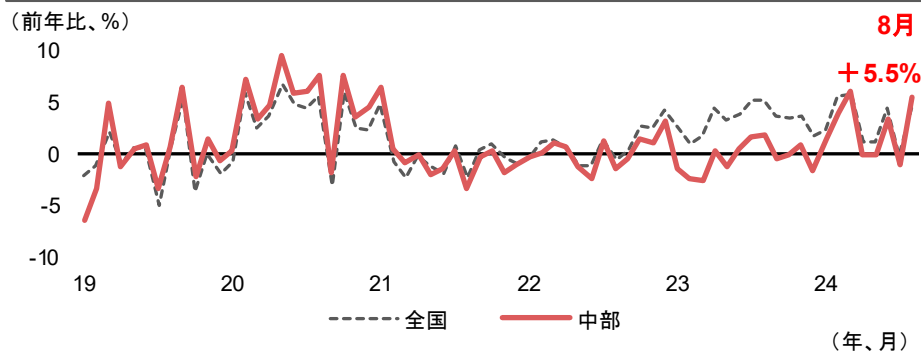


(出所)日本自動車販売協会連合会「新車販売台数状況」
全国軽自動車協会連合会「軽四輪車新車販売」

個人消費(業態別)

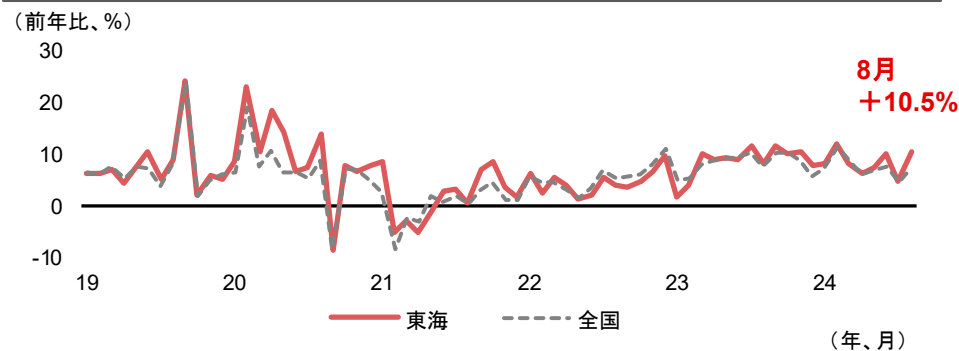
8月の業態別小売販売(名目)を見ると、スーパー(中部5県)は前年比+5.5%と2カ月ぶりに増加した。
8月の百貨店売上(名古屋)は、夏物衣料の好調もあって、前年比+4.5%と35カ月連続のプラスとなった。

スーパー販売額



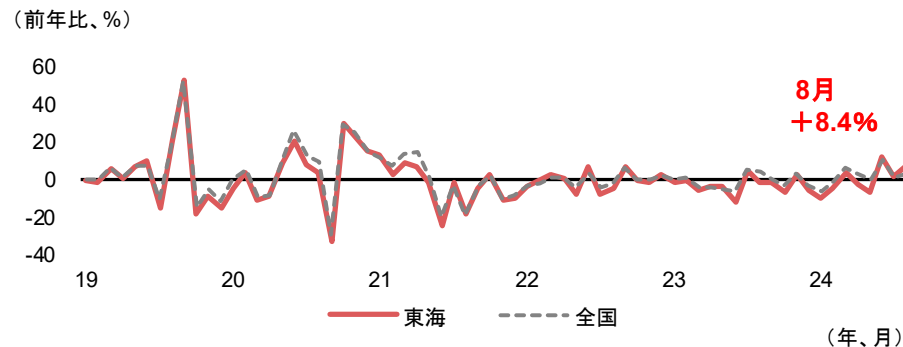
(出所) 経済産業省「商業動態統計」

ドラッグストア販売額



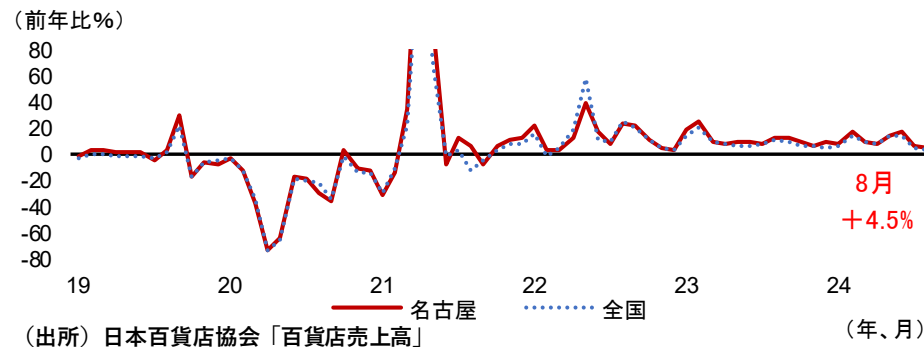
(出所) 経済産業省「商業動態統計」

家電大型販売店販売額



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

百貨店売上高



(出所) 日本百貨店協会「百貨店売上高」

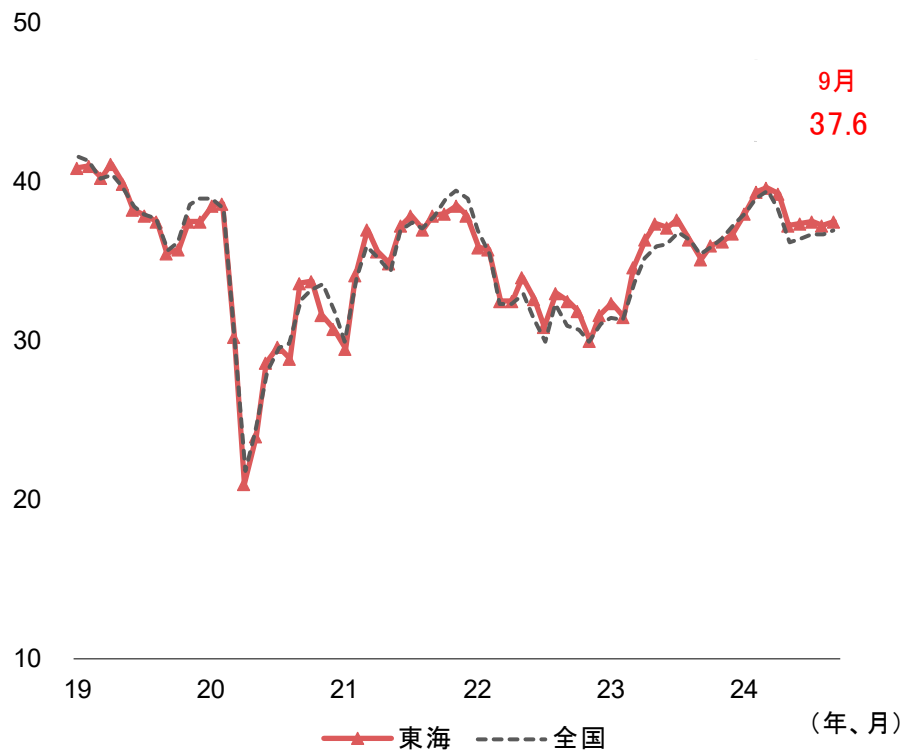
(注) 店舗調整後前年比

マインド・景況感

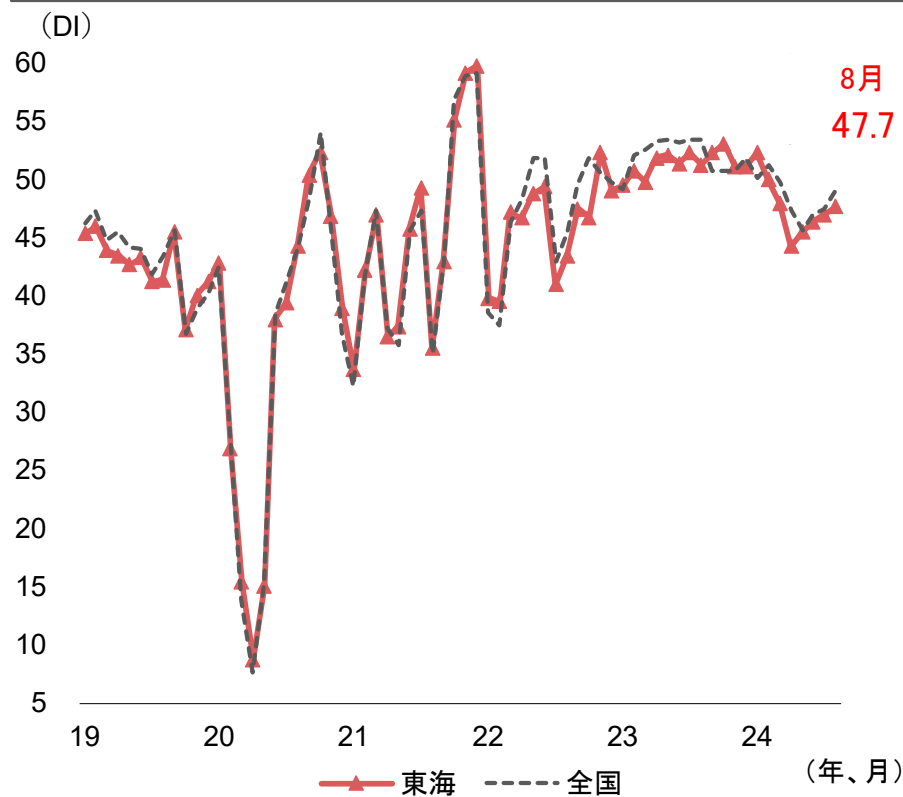
9月の消費者態度指数は、2カ月ぶりに上昇した。

8月の景気ウォッチャー調査(現状判断DI)は、前月差+0.7ポイントの47.7となったが、横ばいを示す50を6カ月連続で下回った。インバウンドは引き続き好調、猛暑効果は改善・悪化の両方に効いた模様。

消費者態度指数



景気ウォッチャー調査(現状判断)



(注) 東海の季節調整値はMURC試算
(出所) 内閣府「消費動向調査」

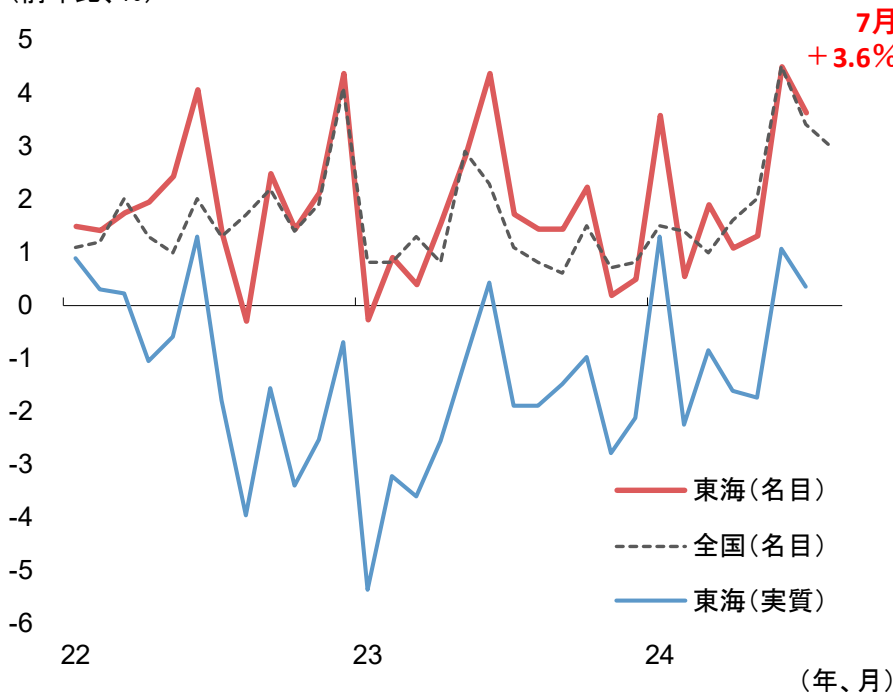
(出所) 内閣府「景気ウォッチャー調査」

賃金・雇用

7月の名目賃金は、前年比+3.6%と高めの伸びとなり、実質でも2カ月連続でプラスとなった。
 8月の有効求人倍率は1.29と前月と同水準。全国に比べ求人倍率が高い状態が続いている。
 24年4-6月期の失業率は2.4%と上昇、就業者数は前期比で増加した。

賃金指数

(前年比、%)

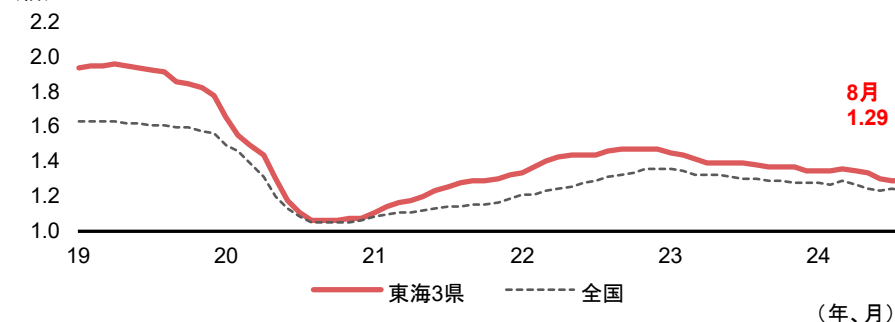


(出所) 東海3県の名目賃金指数(現金給与総額)、常用雇用者指数よりMURC作成

(注) 「持家の帰属家賃を除く総合(東海)」で実質化

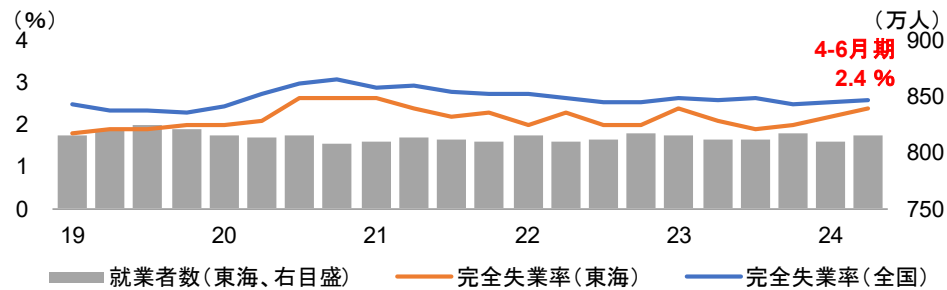
有効求人倍率(季節調整値)

(倍)



(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」

失業率と就業者数(季節調整値)

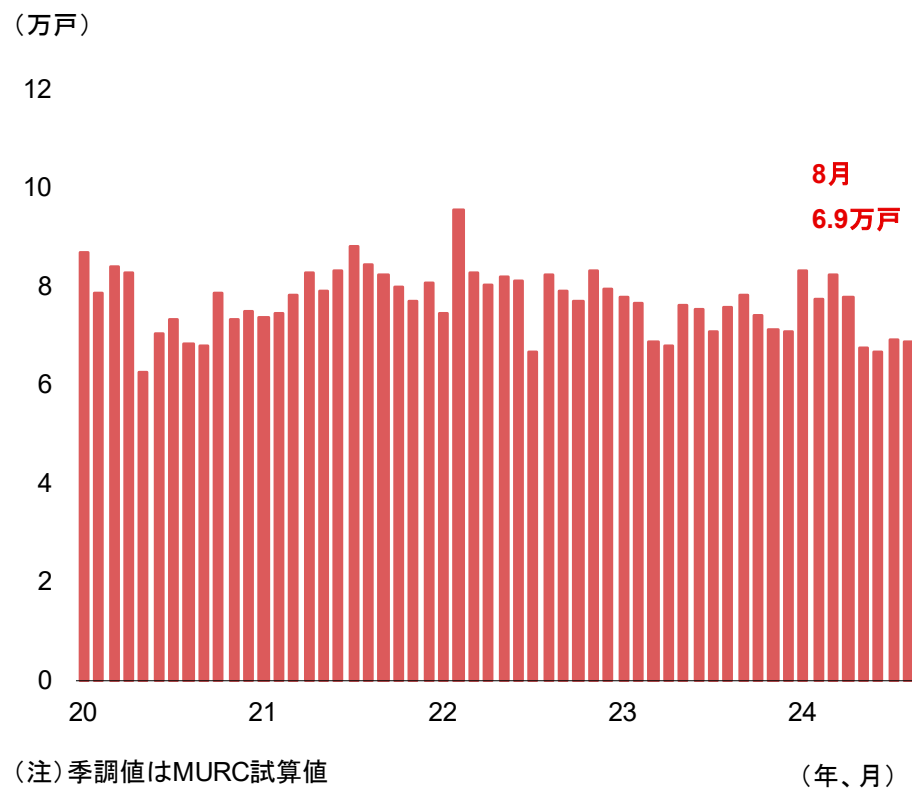


(出所) 総務省「労働力調査」

住宅投資

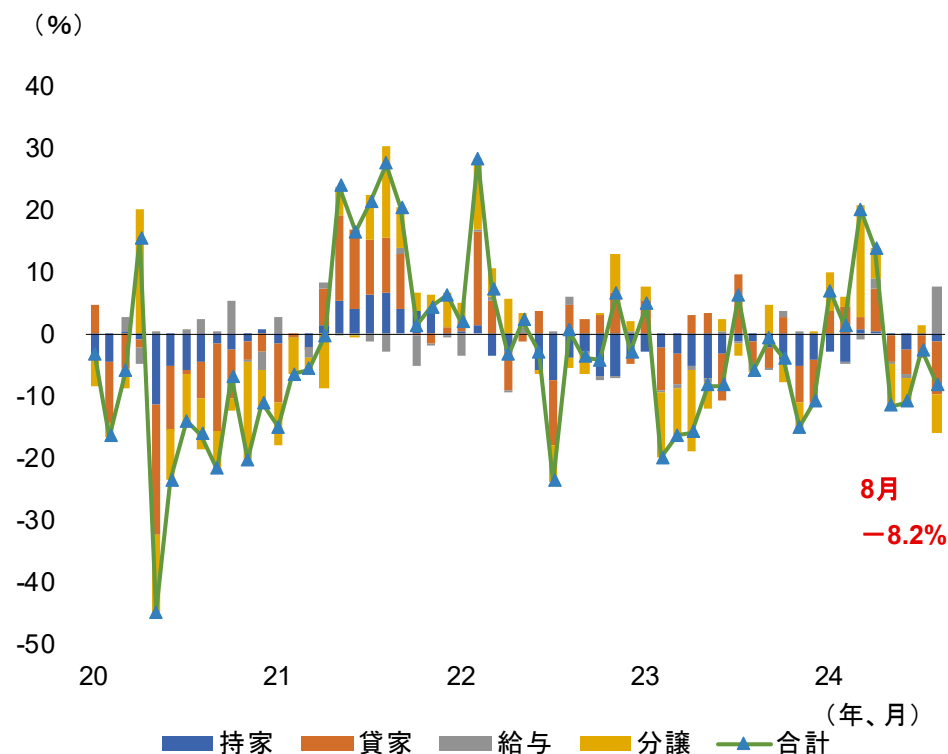
8月の住宅着工は、季節調整済年率換算で6.9万戸と小幅ながら2ヵ月ぶりに減少。前年比では-8.2%と4ヵ月連続で減少した。持家、貸家、分譲のいずれもが減少した。東海の住宅投資は、均してみると横ばい圏で推移している。

新設住宅着工戸数(季調済年率換算)



(注) 季調値はMURC試算値
(出所) 国土交通省「建築着工統計」

新設住宅着工戸数(前年比)

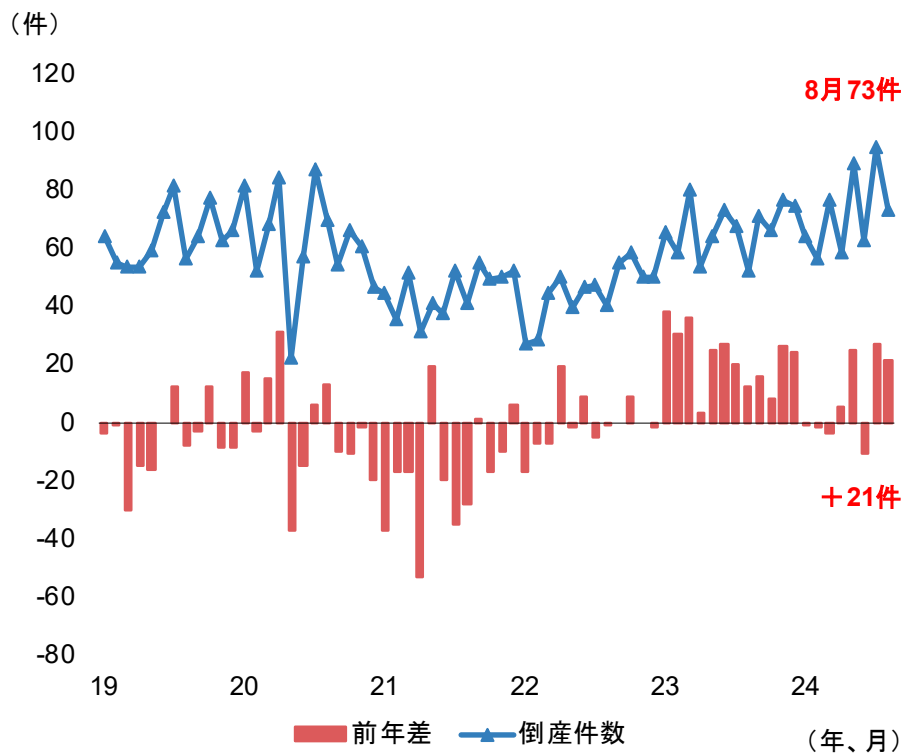


(出所) 国土交通省「建築着工統計」

倒産

8月の倒産件数は前年差+21件の73件。コロナ前程度の水準となっている。

倒産件数

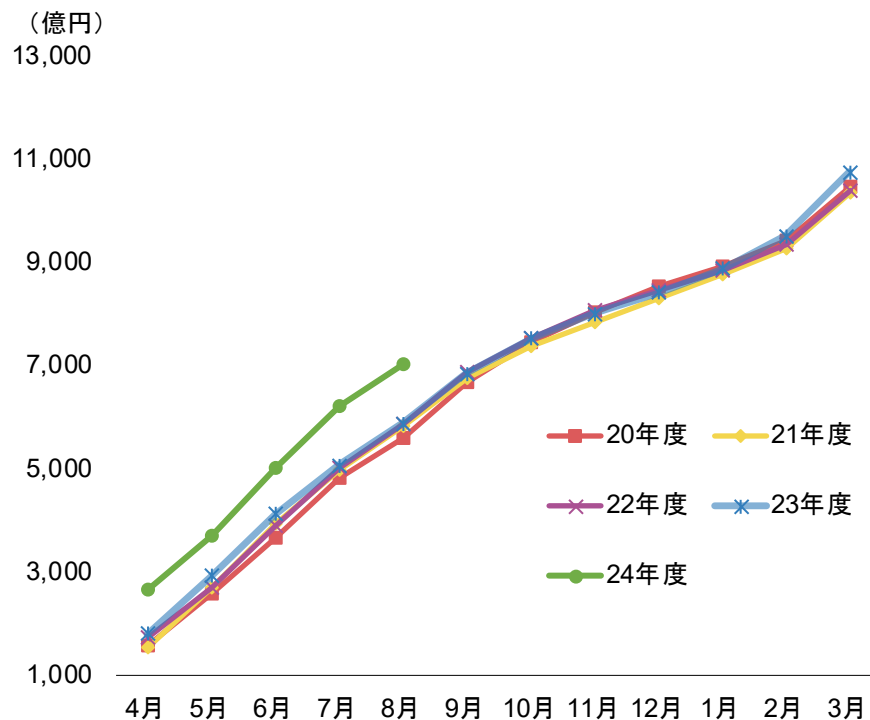


(出所)東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」

公共投資

8月の公共工事請負金額(年度累計)は、前年比+19.6%の7,005億円と、例年に比べ高めの水準となった。

公共工事請負金額(年度累計)



(出所)東日本建設業保証「公共工事前払金保証統計」

ご利用に際して

- 本資料は、執筆時点で信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客さまの決定、行為、およびその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客さまご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず、出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください。

(お問い合わせ)

調査・開発本部 調査部 塚田

TEL:03-6733-1626 E-mail:chosa-report@murc.jp

〒105-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー